

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
6 2	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
<p>Low intake of vitamin B-6 is associated with increased risk of colorectal cancer in Japanese men.</p> <p>日本人男性において低ビタミン B6 摂取は結腸直腸ガンリスクの上昇と相関がある</p>	
執筆者	
Ishihara J, Otani T, Inoue M, Iwasaki M, Sasazuki S, Tsugane S; Japan Public Health Center-based Prospective Study Group.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Nutr. 2007 Jul;137(7):1808-14.	
キーワード	
ビタミン B6、アルコール摂取、結腸直腸ガン	
要 旨	
<p>筆者らは日本人中年男性女性を対象とした大規模前向きコホート研究によって葉酸、食餌からのビタミン B6、ビタミン B12、メチオニン摂取と結腸直腸ガンリスクの相関を調べた。Japan Public Health Center-based Prospective Study に参加した 81184 名 (男性 38107 名、女性 43077 名) を 1995-1998 年から 2002 年まで追跡し、この間に 526 名 (男性 335 名、女性 191 名) の結腸直腸ガン患者を新たに同定した。栄養素の食事摂取は 138 項目からなる自己管理 FFQ より算出した。この結果、男性でビタミン B6 摂取と結腸直腸ガン発症に顕著な逆相関が見いだされた。ビタミン B6 摂取の下位四分位点において 1 週間で 150g かそれ以上のアルコールを摂取する男性はそれよりも飲まない男性に比べて、結腸直腸ガンリスクが 2 倍であったが、アルコール摂取によるリスクはビタミン B6 摂取の上位四分位点よりも高くなかった。女性ではビタミン B6 摂取と結腸直腸ガンリスクに相関がなかった。男性女性とも葉酸とメチオニンの摂取と結腸直腸ガンリスクには相関がなかったが、男性ではビタミン B12 摂取の増加とともに結腸直腸ガンリスクが上昇する傾向が見られた。低ビタミン B6 摂取は結腸直腸ガンリスクの上昇と相関があり、特にアルコールを多く摂取する男性がビタミン B6 を多く摂取することは有益であると思われる。</p>	